



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社高松コンストラクショングループ
コード番号 1762 URL <https://www.takamatsu-cg.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 浩孝
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 不破 徳彦 (TEL) 06-6303-8101
四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	203,647	6.8	6,871	1.1	7,060	2.9	4,096	△0.6
2022年3月期第3四半期	190,639	△9.1	6,798	△15.9	6,863	△15.4	4,120	△14.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,457百万円(17.1%) 2022年3月期第3四半期 4,659百万円(△5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	117.64	—
2022年3月期第3四半期	118.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	218,453	124,734	57.1
2022年3月期	236,719	121,471	51.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 124,701百万円 2022年3月期 121,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	23.00	—	40.00	63.00
2023年3月期	—	23.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	受注高		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	15.1	300,000	13.7	12,000	6.9	12,000	4.4	6,800	1.1	195.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	34,818,578株	2022年3月期	34,818,578株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	—株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数	2023年3月期3Q	34,818,578株	2022年3月期3Q	34,818,601株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
3. 連結受注高・連結売上高の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する状況のもと、行動制限の緩和やワクチンの普及等により社会経済活動が正常化に向かう動きが見られる一方で、金融引締め等の継続により世界経済は低迷しており、日本経済にも影響が及びました。また円安に起因する原材料価格や資機材価格、エネルギー価格の上昇、ウクライナ情勢の長期化に伴う経済の不安定化などに影響されて依然として先行きの見通しは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の下、公共建設投資、民間建設投資共に、需要は底堅さを維持しているものの、慢性的な技術労働者不足と資機材価格高騰に伴う建設コスト上昇は継続しており、厳しい事業環境が続いております。

また、民間住宅投資は、新設住宅着工戸数は持ち家については減少しているものの、貸家は増加傾向にあり、総じて底堅く推移しておりますが、資機材価格高騰や労務の逼迫の影響による建設コストの増加が懸念されることから、動向を注視する必要があります。

当第3四半期連結累計期間の受注高は258,476百万円（前年同期比12.4%増）と堅調に推移し、売上高は203,647百万円（前年同期比6.8%増）となりました。利益につきましては、営業利益は6,871百万円（前年同期比1.1%増）、経常利益は7,060百万円（前年同期比2.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べて0.6%減の4,096百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費等△3,071百万円およびその他の調整額△734百万円であります。

(建築事業)

受注高は147,565百万円（前年同期比17.5%増）、完成工事高は96,767百万円（前年同期比9.6%増）となり、セグメント利益は3,410百万円（前年同期比72.3%増）となりました。

(土木事業)

受注高は73,611百万円（前年同期比2.7%減）、完成工事高は69,508百万円（前年同期比5.5%減）となり、セグメント利益は4,417百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

(不動産事業)

不動産の売買および賃貸等による売上高は37,371百万円（前年同期比30.1%増）となり、セグメント利益は2,849百万円（前年同期比26.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18,265百万円減少し、218,453百万円となりました。

その主な要因は、販売用不動産が7,110百万円、不動産事業支出金が2,527百万円、建設仮勘定が4,389百万円増加した一方、現金預金が30,793百万円、受取手形・完成工事未収入金等が3,679百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ21,528百万円減少し、93,719百万円となりました。

その主な要因は、未成工事受入金が2,368百万円増加した一方、工事未払金が2,834百万円、短期借入金が17,200百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,262百万円増加し、124,734百万円となりました。

その主な要因は、配当金の支払2,193百万円があった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益4,096百万円を計上したことにより利益剰余金が1,902百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定が1,442百万円増加したことによるものです。

以上の結果、純資産の額から非支配株主持分を控除した自己資本の額は124,701百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ5.8ポイント増加し57.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日付で公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	67,899	37,106
受取手形・完成工事未収入金等	79,948	76,269
販売用不動産	13,759	20,870
未成工事支出金	1,422	1,826
不動産事業支出金	8,519	11,047
未収入金	3,741	3,030
その他	1,373	3,138
貸倒引当金	△82	△82
流動資産合計	176,582	153,207
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	6,118	6,195
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,361	1,512
船舶（純額）	696	1,089
土地	27,808	27,851
リース資産（純額）	151	116
建設仮勘定	5,438	9,828
有形固定資産合計	41,573	46,593
無形固定資産		
のれん	1,576	1,391
その他	914	842
無形固定資産合計	2,490	2,233
投資その他の資産		
投資有価証券	9,442	10,230
繰延税金資産	3,900	3,412
その他	2,952	2,991
貸倒引当金	△221	△214
投資その他の資産合計	16,073	16,419
固定資産合計	60,137	65,246
資産合計	236,719	218,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	28,561	25,727
短期借入金	17,200	-
未払法人税等	2,315	678
未成工事受入金	23,968	26,337
完成工事補償引当金	703	598
賞与引当金	3,785	1,976
その他	9,930	9,087
流動負債合計	86,465	64,406
固定負債		
社債	15,000	15,000
再評価に係る繰延税金負債	256	256
繰延税金負債	501	531
船舶特別修繕引当金	71	68
退職給付に係る負債	10,627	11,128
その他	2,325	2,328
固定負債合計	28,782	29,313
負債合計	115,247	93,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	797	797
利益剰余金	115,892	117,795
株主資本合計	121,689	123,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	748	651
土地再評価差額金	△1,266	△1,266
為替換算調整勘定	60	1,503
退職給付に係る調整累計額	201	220
その他の包括利益累計額合計	△256	1,109
非支配株主持分	38	32
純資産合計	121,471	124,734
負債純資産合計	236,719	218,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高		
完成工事高	161,912	166,275
不動産事業売上高	28,726	37,371
売上高合計	190,639	203,647
売上原価		
完成工事原価	138,640	142,579
不動産事業売上原価	24,668	31,987
売上原価合計	163,308	174,566
売上総利益		
完成工事総利益	23,272	23,696
不動産事業総利益	4,058	5,384
売上総利益合計	27,330	29,080
販売費及び一般管理費		
営業利益	20,531	22,209
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	107	109
出資金運用益	-	127
為替差益	71	-
その他	151	234
営業外収益合計	334	475
営業外費用		
支払利息	177	155
その他	92	130
営業外費用合計	269	286
経常利益	6,863	7,060
特別利益		
固定資産売却益	3	2
投資有価証券売却益	6	121
特別利益合計	9	124
特別損失		
固定資産除却損	8	6
事務所移転費用	45	-
その他	1	-
特別損失合計	55	6
税金等調整前四半期純利益	6,817	7,179
法人税、住民税及び事業税	2,065	2,492
法人税等調整額	631	595
法人税等合計	2,697	3,087
四半期純利益	4,120	4,091
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,120	4,096

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,120	4,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113	△97
為替換算調整勘定	189	961
退職給付に係る調整額	116	19
持分法適用会社に対する持分相当額	119	481
その他の包括利益合計	539	1,365
四半期包括利益	4,659	5,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,659	5,461
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いにしたがって、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 連結受注高・連結売上高の状況

項目	前第3四半期累計 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期累計 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増減		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	
受注高	建築事業	125,599	54.6	147,565	57.1	21,966	17.5
	土木事業	75,674	32.9	73,611	28.5	△2,062	△2.7
	建設事業計	201,273	87.5	221,177	85.6	19,903	9.9
	不動産事業	28,726	12.5	37,299	14.4	8,572	29.8
	計	229,999	100.0	258,476	100.0	28,476	12.4
売上高	建築事業	88,326	46.3	96,767	47.5	8,440	9.6
	土木事業	73,586	38.6	69,508	34.1	△4,077	△5.5
	建設事業計	161,912	84.9	166,275	81.6	4,362	2.7
	不動産事業	28,726	15.1	37,371	18.4	8,645	30.1
	計	190,639	100.0	203,647	100.0	13,008	6.8